

第1学年 英語科学習指導案

日時 平成18年11月10日(金) 4校時
学級 葛巻町立江刈中学校1年A組
(男子9名、女子13名、計22名)
授業者 熊谷 一史

1 単元名

「はじめてのカナダ旅行」 New Horizon English Course Book 1 Unit 8

2 単元について

(1) 教材観

本単元は、絵美、慎、マイク、ジュディの4人が冬休みにカナダへ旅行に行くという場面で、(1)ものがどこにあるのかをたずねる、(2)かばんなどを見て誰の持ち物かをたずねる、(3)有名人について友達にたずねる、という3つの場面で構成されている。

これまで、疑問詞は what, who, how many..., which などを学習してきたが、本単元では、where を用いた疑問文と、場所を表す前置詞を用いた応答文、whose を用いた疑問文と、mine, yours などの人称代名詞の所有格を用いた応答文、そして him, her などの人称代名詞の目的格をまとめて学習することにより、英語による表現の幅を広げていくことになる。それぞれの表現の形・意味・用法を理解させ、簡単な対話を行うとともに、自分がたずねたり答えたりしたこと、または相手が述べたことなどを書かせることによって、基本的な英文を書く力を高めていきたい。また、新しい疑問詞の使い方を理解することにより、自分自身に関わることや身のまわりについて、「もっと英語で表現してみたい、伝えてみたい」という気持ちを喚起するようにしていきたいと考える。

(2) 生徒観

全体的に、明るい雰囲気ですることができる学級である。多くの生徒が英語に関しての興味、関心を持っており、会話やペアワークにも積極的に取り組む。一方で音読を苦手としている生徒も数名おり、読むことを面倒くさいと感じたり、読めない単語があってもそのままにしたりすることもある。これらのことから、新出単語の(を読む?)練習や、モデル対話文の音読練習を十分に行う必要がある。「書くこと」については、これまで空書きで単語練習を行ったり、基本文テストなどを行ったりして取り組んできたが、依然として苦手とする生徒が多い。Sub-teacher を設けながら、互いに教え合う雰囲気の中で個別指導や反復練習を充実させていきたい。また、毎時間の授業で理解できたと感じても、時間が過ぎると曖昧になっている様子が見られることから、家庭での復習や授業でのくり返しを大切にしていきたい。

(3) 指導観

「『書くこと』の力を高める学習指導の展開」が授業改善内容の重点となっていることから、これまで基本的な英文を書くことの定着を目指し、次のようなことに取り組んできた。1つ目は、単語や語句レベルでの空書きを入れた書き取り練習である。フラッシュカードを見て発音した単語を、綴りに気をつけながら(宙に指で?)書く時間を授業時間内に設け、単語の綴りをイメージ化させることによって書く力を高めたいと考える。2つ目は、基本文や重要文を口頭練習した後に、練習した文をノートに書くことである。その際、書くときのルールを意識させながら取り組ませ、教師と sub-teacher (与えられたタスクを終え、教師のチェックを受けた生徒が、教える側に回ること)でチェックを行なう。このこ

とにより、基本的な文の語順や語句の定着を図りたいと考える。3つ目として、口頭練習を十分に行ったあとのペア活動やインタビュー活動をさせた結果、相手から得られた情報を書くように指示するなど、書く練習を日頃から習慣づけることにより、抵抗なく英語を書けるように仕向けていきたい。

3 単元の指導目標

- (1) Where...? の文を使って、ものがどこにあるかをたずねたり、それに答えたりすることができる。
- (2) Whose...?の文を使って、ものの持ち主についてたずねたり、それに mine, yours などの人称代名詞を使って答えたりすることができる。
- (3) 人称代名詞の目的格の形・意味・用法を理解し、表現できる。

4 単元の指導計画(3時間扱い)

- (1) Part 1 (P.p.66~67) Where...?の文とその応答文・・・ 1時間(本時)
- (2) Part 2 (p.68) Whose...?の文とその応答文・・・ 1時間
- (3) Part 3 (p.69) 人称代名詞の目的格・・・ 1時間

5 本時について

(1) 目標

Where...?の文と応答の形・意味・用法を理解し、正しく書くことができる。書くこと
身近なものについて、ものがどこにあるかたずねたり、それに答えたりすることができる。
話すこと

(2) 本時の評価規準と具体的評価規準

	評価規準(観点)	評価場面(方法)	Aの状況例	Bの状況例	Cへの手立て(支援)
書くこと	Where...?の文と応答の形・意味・用法を理解し、正しく書くことができる。 (表現の能力)	・基本的な文を書く場面(ワークシート)	Bに加え、語順や単語が正確であり、文のきまり等にも気をつけて書くことができる。	Where is ...?の形で疑問文を作り、正しい前置詞を用いて文を書くことができる。	・板書や教科書を参考にするように助言する。 ・Sub-teacherからもアドバイスする
話すこと	ものがどこにあるかたずねたり、それに答えたりすることができる。 (表現の能力)	・ペアで発表する場面(観察)	正確な発音、イントネーション、適切な声量で対話ができる。	Where is ...?でたずねたり、正しい前置詞を用いて答えたりすることができる。	・机間指導をして読めない、分からない単語について援助する。

(3) 本時の評価

Where...?の文と応答の形・意味・用法を理解し、正しく書くことができたか。
身近なものについて、ものがどこにあるかたずねたり、それに答えたりすることができたか。

(4) 本時の展開

段階	学習内容	生徒の活動	指導上の留意点 評価
導入 10分	1 Greeting	・英語で挨拶	<ul style="list-style-type: none"> ・疑問詞の復習を入れる ・Where について簡潔に説明
	2 Warm up	・教師の英語の質問に英語で答える。	
	3 基本文型の導入	・モデル文を提示し、ポイントを確認	
Where・・・?を使って、もののある場所をたずねたり、答えたりしよう。			
展開 30分	4 ドリルと確認	<ul style="list-style-type: none"> ・口頭練習をする。 ・練習した基本文をノートに書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・テンポよく進める。 ・文を書くときのルールに注意 ・Sub-teacher もチェック Where...?の文と応答の形・意味・用法を理解し、正しく書くことができる。
	5 新出語句の練習	<ul style="list-style-type: none"> ・新出語句の発音練習と意味の確認 ・書き取り（ディクテーション?） 	・フラッシュカード
	6 本文の内容確認	・ビデオを見た後、T or Fで確認する。	・ビデオ
	7 音読練習	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の内容を確認する。 ・本文の音読練習をする。 	・CD
	8 ペアワーク 最初に会話、次に書く	<ul style="list-style-type: none"> ・もののある場所についてたずねる英文を書く。 ・相手にもののある位置をたずね、聞いた答えを英文で書く。 ・ペアでチェックする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チェックポイント 文を書くときのルール つづりの間違い ものがどこにあるかたずねたり、それに答えたりすることができる。
9 発表	・ペアごとに発表する。		
終末 5分	10 学習の振り返り	・本時の学習について振り返り、自己評価する。	・学習シート
	11 次時の予告	・次時の学習内容を確認する。	